



射水市名誉市民

うしづか とら た ろ う  
牛塚 虎太郎

Ushizuka Torataro

生年月日～没年月日

明治12年4月28日 生  
～ 昭和41年11月1日 没

決定年月日

昭和40年6月26日議決

主な経歴

東京府知事  
東京市議員  
東京市長

## 功績

牛塚虎太郎は、射水郡水戸田村藤巻(現射水市)に生まれた政治家です。

明治38年、東京帝国大学(現東京大学)を卒業し官界に入り、内閣書記官を経て大正5年には内閣統計局長に就任、大正9年には原敬内閣の下で国勢院第一部長兼臨時国勢調査局次長として、我が国最初の国勢調査の陣頭指揮に当たりました。

大正11年、岩手県知事に就任以降、群馬、宮城、東京の各府県知事を歴任、岩手県知事時代には、県名を「厳手」から「岩手」に改め、群馬県知事のときには、前橋と高崎で争っていた県都問題について、大英断をもって前橋に決定するなど、地方自治に大きな功績を残しました。

昭和8年には東京市議員となり、互選により東京市長に就任、東京オリンピックの誘致に成功(日中戦争の激化により中止)するなどその政治手腕を大いに発揮します。昭和17年には東京1区から衆議院議員に当選し、国政にも尽くしました。

郷土に対しては、越中大門駅の設置に対する支援、布目沢・藤巻・本江間の新道開設など、数多くの功績を残しています。

晩年は藤巻の生家に帰り、87歳の生涯を閉じます。遺族からは自治振興関係図書300冊が旧大門町に寄贈され、正力図書館(※)内に「牛塚文庫」(※)が創設されました。この文庫は、虎太郎の偉大な業績を永く伝えるとともに、地方自治の研究者及び一般の人々に広く活用されています。

※ 市立正力図書館 大門総合会館3階。枇杷首出身の衆議院議員、読売新聞社社主であった正力松太郎氏の寄付により、昭和35年開館。昭和62年の大門総合会館開館の際、同会館内に移転。

※ 牛塚文庫 虎太郎の逝去の際、遺族から寄附された寄附金をもとに創設。寄附の趣旨に沿って地方自治振興に関する図書を購入することになり、その選択は当時の小林與三次読売新聞社副社長(元自治省事務次官)が行った。

(『大門町史 続巻』(大門町)、『富山大百科事典』(北日本新聞社) から引用)